

サポーターについて

本年度は1名が就職のため山口学習塾から旅立ち、2名の新しい仲間がサポーターとして加わりました。この2名は樋口がはじめて送り出した卒業生の代にもなりますので、今の山口学習塾にかなり近い形の授業を受けていた卒業生たちです。我々講師とは違った視点で皆さんにできるアドバイスも多いかと思えます。

また、去年から働いている4名のサポーターも1年間の経験を積んでいますので、質問対応などで皆さんの成績向上にお役に立てることもたくさんあるでしょう。私や樋口の手が空いてないときなどは積極的にサポーターに質問してみてください。とくに3年生は部活動引退後は毎日塾に来てもらいますので、サポーターをフル活用してください。

覚悟を決めよ ~受験勉強が始まる~

6月の半ばには運動部の学総が続き、中学3年生の中には部活動を引退する人も出てくるでしょう。”部活動引退＝受験勉強の始まり”です。1、2年のときから山口学習塾に通っている人はよくご存じだと思います。山口学習塾の受験勉強とは…。簡単な話、毎日塾に来る、ということです。自由参加の自習ではありません。絶対に来なければいけません。厳しいようですが、理由もなく頻繁に休むような人は塾を辞めてもらいます。もちろん受験は一人一人の個人戦ですが、長い受験勉強を戦い抜くには君たちは「2018年山口学習塾受験生」として一つのチームで乗り切らなければいけません。自分が辛いとき、休みたくなるとき、隣で必死に机に向かってる仲間・ライバルの姿が君たちの背中を押してくれるはずです。もちろん、我々も戦う覚悟を持った受験生には最大限の力を尽くします。

すぐに休んだり、遅刻をしたり、ダラダラしたり、後ろ向きな発言ばかりしたり、居眠りを平気でしたり…そういう人は「2018山口学習塾受験生」のチームには要りません。戦う集団として高い意識を全員が持ってください。「自分は行ける高校に入れればいいし…」そんなのは関係ない。そんなつもりで君たちはこの塾を選んだのではないはず。現段階で志望校が見つかってないなら、それはそれでいい。とにかくチームの一員として最高の努力をする覚悟で、目の前の課題に最速で取り組んでいってください。

昨年の受験生たちは山口学習塾史上、もっとも努力をしてくれた代です。そして、夏明けの北辰テストの塾平均偏差値が、三科で4.8、五科で4.7上げてくれました。これは凄い数字です。しかし、私は負けるのが大嫌いです。昨年の山口学習塾受験生に負けるわけにはいきません。皆さんも同じはずです。今年は全員で偏差値5以上あげましょう。夏明け塾平均偏差値5UPできたら、おそらく埼玉県学習塾で夏休みの上昇率No1になると思います。やるからには勝つ、皆さんも覚悟を持ってください。

では、受験生の皆さん。部活引退後は毎日18時30分に集合です。毎日3時間半です。もちろん、もっとやってもいいです。今年は伝説レベルの成績UPがどのくらい出るか、楽しみにしています。

- ・一学期期末テスト対策
- ・サポーターについて
- ・覚悟を決めよ、受験勉強が始まる
- ・一番を目指す
- ・環境が学習を決める

一学期期末テスト対策

まだ中間テストを終えていない中学校もありますが、約一カ月後には、期末テストが行われます。

塾では、**6月11日(月)**から期末テスト対策を開始していきます。

中間テスト対策で気になった点は、学習のスピードです。いつもワークの暗記を終わらせられないで結果が出ていない生徒に対して、「早くワークの暗記プリントをやりなさい。」と繰り返しプレッシャーをかけているにも関わらず、やはり今回も終わらずにテストへ…。「学習スピードを速く」という意識がまだ浸透していない生徒が数名います。

期末テストは対策期間中に部活の大会をはさむ生徒も多いと思います。早め早めの意識を強く持っていきましょう。

一番を目指す

「一番に何かならなくていい。そういう歌もありです。いい歌だと思います。でも私自身はどんな小さなことでも「一番を目指すべき」と考えています。」

話は少しそれますが、みなさん日本が一番高い山は何ですか？日本が一番大きい都道府県は？日本で一番広い湖は？日本で一番長い川は？答えは富士山、北海道、琵琶湖、信濃川です。中学二年生になればすぐに答えられるかもしれません。

では、日本で二番目に高い山は何ですか？日本で二番目に大きい都道府県は？日本で二番目に広い湖は？日本で二番目に長い川は？

答えられる人がどれくらいいるでしょうか？(問題を出しておきながら私も全部は分かりませんでした。大人であつてもすぐに答えられる人はかなり少ないと思います。つまり、一番と二番にはこれだけ大きな差があるのです。一番には間違いなく大きな価値がある。競争主義だとか、一番以外は価値が低いだなんて残酷だ、とか色々批判を受けるかもしれません。それでも私は正面から「全員が一番を目指すべき」と答えたい。

このような話をすると、「じゃあ僕は学年半分以上なのに、学年一位を目指さなければいけないの？」

と、思われることでしょうか。「そんなに非現実的なことのために努力できない。」となつてしまふかもしれません。そこでではありません。皆が皆、学年一位を目指すべきと言っているのではないのです。(目指せる範囲にいる生徒は絶対を目指すべきですが。)

私が言いたいのは、例えば「テストの伸び率一位」とか、「勉強時間一位」とか自分が必死になれば狙える一位を目指すべきということです。もっと細分化してもいい。「福原中で伸び率一位」「城南中で勉強時間一位」など。もっと細かく「大東中で前回300点以下の生徒で、数学の伸び率一位」や「水曜日に塾に来る時間一位」でもいい。「何となくがんばろう。」「自分なりにがんばろう。」「よりは、よっぽど熱がこもつた覚悟だと思えます。」

どんな小さなことでも「自分は一番になったことなんてない。」と思つている生徒が大多数だと思えます。でも私が言つたような小さな一番なら努力次第(もしかしたら今よりもほんの一步の努力)で誰でも可能性があるはずですよ。

「水曜日」に塾に来る時間一位」に何の意味があるんだ？そう自分の中で批判する前にやってみたらいいんです。いつもは頭がいい人が勉強している中、席につき自分。それが学年10位に入るような人たちを先に勉強してイメージしてみてください。本当に無意味ですか？それを毎週水曜日、一か月間でも続けてみてください。

本当に何も変わりませんか？こんな小さな一番でも思いのほか大きな自信になるはずですよ。

私自身は何をするにも小さな一番を目指しています。川越マラソンでも「競技歴なし、練習期間三カ月の中で一番速い」とか、「兄弟の中で一番」とか。(まあ兄と私なので一番かビリとかないんですが...)負けてもいいとか、頑張ればいいとか、そういう意識で努力を重ねたくない、私はそう考えています。そういう意識で始めた努力は結局中途半端、努力というのに値しない気がするんです。

人はそれぞれ違い個性があるからいいんだ。そんなの当たり前です。隣に座っている人の顔を見れば誰だつて分るでしょう。そんな大前提は一番を目指すに理由になりません。何が一番でもない人が「自分はオンリー1だから」と自信を持って言えますか？よっぽど「俺は水曜日一番早く来ている。」の方がカッコいい。

話は少しぐんぐんそれましたが、生徒の皆さんはまず塾内でそれぞれの一番を設定してそれを実現してください。「字を書くスピード一番」「課題を終わらせるスピード一番」「休み時間中勉強する一番」何でもいいです。漠然と頑張るよりも2倍も3倍も皆さんの自信になるはずですよ。

※2番目の答えは、北岳、岩手県、霞ヶ浦、利根川でした。

環境が学習を決める

自然環境でも、たとえば川の環境が変われば住む魚も変わります。魚にとえるのは適切ではないかもしれませんが、小学生、中学生の学習姿勢(成績)も環境が変われば大きく変わります。山口学習塾でも環境が変わったタイミングで成績が伸びる生徒が多いです。

まずは山口学習塾に入るタイミングで多くの生徒は学習環境がガラッと変わります。今までは塾に行かず自分がやりたい時しか勉強をこなかつた、あるいは塾に通っていても授業中スマホをいじる生徒がいるような環境。それが授業中少しでもボケーっとしていたら怒られ、小テストは不合格だと合格できるまで再テスト。毎週大量の宿題がでて、忘れると授業もないのに次の日に必ず提出しなければ怒られる。提出しても、いい加減にやってきた場合にはやり直し。定期テスト3週間前からは毎日塾に来て学習。学習中も質問以外のおしゃべりは禁止で、学校のワーク、プリント、模擬テストをひたすら演習。そういった「学習するための環境」に変わること、多くの生徒は成績を伸ばしていきます。

受験生になるタイミングでまた環境が変わります。今までもそれなりに厳しい環境ではありますが、中3の6月半ばから受験勉強が始まると毎日塾に来て3時間半学習することになります。つまり、半年間テスト対策期間が続くようなものです。夏期講習は毎日のように10時間学習。山口学習塾に入るタイミングが川の下流から中流への変化だとすると、この中3の6月以降は中流から上流への変化です。我々も学力だけでなく、受験生としての意識に変えてもらうために、投げかける言葉や与えるプレッシャーも今までの比ではありません。夏明け9月の北辰テストで偏差値が上がる生徒が多いのは学習環境が変化し、学習時間や学習に対する意識も変化するからです。

環境が学習姿勢や成績に与える影響は非常に大きなものです。環境が良くなれば良い影響がでますし、悪くなれば悪い影響が出ます。特に小学生は環境に影響されやすいようです。小学生教室の問いあわせや保護者様との入塾面談でも「宿題をやらない。」「漢字が覚えられない。」「計算が苦手。」といった話を聞くことがあります。そういった問題の多くは、学習環境に問題があることが多いようです。塾や習い事に行っている、宿題をきちんとやらなくても怒られない、漢字ができなくても、計算ができなくても何のペナルティもない、そういった環境の中ではなかなかできるようにはなりません。(むしろ「やらないことが当たり前」という悪い癖がつく可能性もあります。)だからこそ私は小学生であっても宿題を忘れたり、いい加減にやってきたら怒りますし、テストで合格できなければペナルティとして宿題を増やします。

「学習環境」という響きだけ聞くと個別の自習ブース、学習用のパソコン、いつでも質問できるチューター、学習塾のチラシやホームページで見えるようなものをイメージしてしまうかもしれません。しかし、学習塾にとっての本当に大事な「学習環境」とは、そういう設備的、物理的なものではないと強く感じます。もっと内面的な雰囲気や、集団意識、伝統など地道に作り上げていかなければいけないのだと思うのです。だからこそ学習塾によって差が出る部分だと思えます。我々はこれからも山口学習塾の学習環境を心を鬼にして守り抜きます！！

(樋口)